

平成30年度 入学式

ご入学おめでとうございます！

神奈川歯科大学の入学式が平成30年4月4日（水）に挙行され、歯学部116名、短期大学部207名、（歯科衛生学科119名、看護学科88名）総勢323名の新入生が大きな期待を胸に、大学生活の第一歩を踏み出しました。



歯学部
学長 櫻井 孝

開式後の歯学部学長式辞で櫻井孝学長は「新入生に二つの言葉を送ります。一つは

仏教に由来する言葉で「生まれながらの長老なし」という言葉であります。どんな名僧であっても生まれながら名僧

として生まれてきた人はいません。皆さんも学生生活において決して挫けることのないよう頑張ってください。もう一つの言葉はベンジャミンフランクリンの「A stich in time saves nine（今日の一針、明日の十針）」です。具体的な詳しい意味については説明いたしません、これを私からの最初の課題として皆さんに課したいと思います。本日は入学まことにありがとうございます。」と激励の言葉を述べられました。



短期大学部
学長 長谷 徹

文字通り学んで生きる、学ぶために生きるということになります。3年後、6年後に独り立ちできる立派な医療人となって会えることを楽しみに

しております。」と激励の言葉を述べられました。



理事長 鹿島 勇

長く理事長告辞で鹿島勇理事長は「本学は歯科医学、歯科衛生学、そして看護学の教育の場を提供するものであって決して進級試験・卒業試験・国家試験の合格を担保・保障するものではありません。目的を達成するために私たちは最大公約数で皆さんを支援してまいります。皆さんの知識の習熟度はもちろんのこと医療人を目指す個人あるいは集団としての立ち位置・振る舞いに至るまで覚悟と使命感を持ってそれなりに対応してまいりますことを認識しておいていただきたい。」と告辞を述べられました。

更には、来賓祝辞で横須賀市長上地克明様より「縁あって横須賀の地で学生生活を送られることになります。どうか慈しみの心、愛の精神を忘れることなく学生の立場から

横須賀の目指す街づくりにも協力していただきたいと思います。技術だけではなく人間性も磨きそしてやがて市民一人一人の健康と暮らしを支え地域医療に貢献する専門職として飛び立られるということを確認しております。」とお祝いの言葉をいただきました。

新入生代表宣誓では、「学則を守り、大学の名誉を毀損せず、後進の模範となるよう自覚を持ち、学業に専念する」との宣誓がありました。最後に神奈川歯科大学校歌が斉唱され、約1時間半の式典は無事終了しました。辻本好美さんによる伝統楽器「尺八」でのコンサートが開催されました。『ていんさぐぬ花』等、入学祝いの演奏をしていただきました。



辻本好美氏

大学院歯学研究科入学式

平成30年4月4日（水）午後2時より、神奈川歯科大学大学院歯学研究科の入学式が挙行されました。新入生20名（本科生10名、社会人大学院生9名、留学生1名）が新たなスタートを切りました。入学式では櫻井孝学長

より式辞が述べられ、槻木恵一研究科長より挨拶をいただき、合田征司教授より祝辞をいただきました。新入生たちは期待を胸をふくらませていました。



平成 29 年度 卒業式

ご卒業おめでとうございます。

神奈川歯科大学大学院学位授与式、神奈川歯科大学歯学部と短期大学部合同の卒業式が平成 30 年 3 月 16 日（金）に大講堂で挙行されました。今年度の修了生・卒業生は大学院 13 名、歯学部 59 名、短期大学部 148 名（歯科衛生学科 82 名、看護学科 66 名）の総勢 220 名でした。

鹿島勇理事長より「卒業生の皆さんは今日の良き日を迎えるにあたり、長き期間に渡って物心ともにご支援くださいましたご家族の方への感謝の気持ちを決して忘れてはなりません。4 月から専門職としての仕事に就くことになります。その仕事をとおして、何か一つでも夢中になれ

るものを見つけてください。自分は自分であり、本当の自分は常に一定であるという、独自の個性に基づいたスペシャリストの中のスペシャリストを目指していただきたいと思います。」と告辞を述べられました。

歯学部櫻井孝学長は「博士を取得する過程で身に付けた能力を最大限発揮し、研究、教育、社会貢献と様々な場面において、十分にご活躍いただきたいと思います。歯学部並びに短期大学を卒業された皆さんは国家資格を手にするために、大変な努力を重ねてきたことと思います。経験を積み重ねることによって人間は成長し、医療人として一人前になります。苦しい経験に



も挫折することがないことを祈念いたします。」と式辞を述べられました。

続いて短期大学部長谷 徹学長は「子生まれて母危うし」という葉根譚の中の有名な言葉を引用し、子の誕生は大変嬉しい出来事であるが、同時にそれは母親が出産という女性として最大の危機を乗り越えた瞬間でもあったことを話し、これから社会人として旅立つ卒業生に対して物事

を一方向からではなく、多角的に見つめことでその本質を見極める心得を式辞として述べられました。

また、横須賀市長 上地克明様、神奈川県歯科医師会副会長 土屋松美様（会長 鈴木駿介様 代理）、国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院病院長 長堀薫様よりご祝辞を頂きました。

式終盤には卒業生からご家族、学友へ「感謝のこぼ」が伝えられ、卒業生、保護者ともに本学での日々が走馬灯のように思いだされ、涙する場面も見受けられました。式終了後、卒業生たちは希望に満ちた表情で講堂を後にしました。



～成績優秀者～

【歯学部】

谷川 高 市川瑛希
石井貴和

【短期大学部】

（歯科衛生学科）

平本理恵 西村夢友
成岡奈那子

（看護学科）

神山 遥 藤田貴之
穂本ありさ

【学長賞】

中尾 伸（歯学部）



〈歯学部〉



〈短期大学部〉

～企業賞受賞者～

【ストローマン・アワード】

河井甚哉

【デンツプライスチューデント・アワード】

補綴賞：崔 頌媛
保存賞：金 泰潤

【モリタ補綴学賞】

平井成美

【日本小児歯科学会学部学生優秀賞】

諸葛仁哉

【ノーベルバイオケアアワード】

土橋未来
朴 暁民
齋木林太郎



副学長就任挨拶



神奈川歯科大学副学長
藤内 祝

この度副学長を拝命致しましたので、簡単に自己紹介させていただきます。昭和52年に明海大学歯学部を卒業し、名

古屋大学医学部（細胞治療学教授）、横浜市立大学医学部（口腔外科学教授）を経て、4月より神奈川歯科大学に着任致しました。特に本学での新しい取り組みの「医科歯科連携」や、また「口腔外科」に関しまして微力ながら協力をさせていただきますので、皆様にもご支援頂ければ幸いです。今後ともよろしく願い申し上げます。

医科診療の充実

平成29年11月に開院した新附属病院の大きな特色の一つは医科歯科連携体制の充実です。一昨年締結した横浜市立大学との大学間連携協定の一環として、相互に関

連性の深い口腔と全身の疾患に関連する診療科を新たに設けました。医師と歯科医師が協同で患者さんの診断、治療に取り組んでいきます。



全身管理医歯学講座 教授
糖尿病・内分泌内科
佐藤温洋

私は、内分泌代謝学、甲状腺学を中心に内科全般の診療にあたっております。内科疾患を合併した患者様が、安心して歯科治療を受けられるようにし、また近隣歯科医師の先生方と密接に協力していきたいと考えております。



全身管理医歯学講座 教授
糖尿病・内分泌内科
青木一孝

当大学病院に糖尿病専門医、内分泌専門医として着任し2年が経ちました。新病院も完成しさらに充実した医療を提供すべく研鑽を積んでいきたいと思っています。よろしく願い致します。



災害医療歯科学講座 剖検センター 教授
健康管理室 産業医
長谷川 巖

学生・教職員の皆様の健康診断、予防接種等を通じて健康づくりのお手伝いを、また神奈川県警察の事件解決を、医師の立場で支えてまいりました。これからも本学の皆様のため、そして地域貢献に尽力してゆく所存です。



全身管理医歯学講座 教授
消化器内科
古出智子

この度、神奈川歯科大学大学院全身管理医歯学講座教授を拝命いたしました。消化器内科の診療、内視鏡検査を開始いたします。横浜市立大学附属病院と連携し歯周病と非アルコール性脂肪肝炎の研究も行っております。ご指導よろしくお願い申し上げます。



画像診断科 診療科教授
池上 匡

画像診断は現在の医療に不可欠なツールとなっています。今回MRIを導入、CTなども新機種に更新され、医科・歯科の診療に有益な画像情報を提供したいと思っております。『どんな仕事も誠心誠意で』がモットーです。



認知症・高齢者総合内科
診療科教授
眞鍋雄太

大学院生時代より、小阪憲司横浜市立大学名誉教授の指導の下、レビー小体病の神経病理と臨床の融合をテーマに、総合内科医の視点から臨床、研究、啓発活動に従事。モットーは、『正確な診断、根拠に基づいた医療』。

横浜クリニック

新規検査のお知らせ

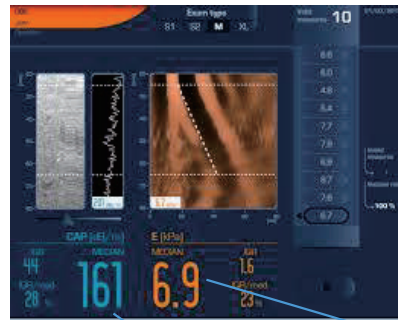
当院では、歯科と医科の連携として歯周病とNASHの関係を検討してきました。

非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）は、単純性脂肪肝（NAFL）と重症タイプの非アルコール性脂肪肝炎（NASH）の2種類がありますが、NASHは放置すると肝臓が線維化して硬くなり、肝硬変、肝細胞がんへと進行

します。

今回、超音波機器にフィブロスキャンが搭載された機器を新規に購入して、肝臓の硬さ（線維化の程度）と肝臓に貯まる脂肪量を数値化する検査を腹部超音波検査と一体化して行えるようになりました。

腹部超音波検査で脂肪肝と診断をされた方、また血液検査で肝機能の数値が高い方



肝臓に貯まる脂肪量

肝臓の硬さ

は、この新しい腹部超音波検査を受けてみては如何でしょうか。

ファティマ大学学長、歯学部長、病院長の来訪

神奈川県立神奈川歯科大学は、平成15年7月よりファティマ大学と姉妹校を締結しています。平成30年2月5日（月）に Dr. Caroline Marian S. Enriquez 学長、Dr. Arturo de Leon 歯学部長、Ramoncito R. Valdezco 病院長らが神奈川歯科大学を来訪され、櫻井孝学長はじめスタッフとの意見交換ならび新病院、資料館の見学が行われました。また、旧病院のユニットとデンタル撮影機などの医療機器をファティマ大学へ贈与することについて確認を行いました。ま

た今後両校の親睦を深めていく上でも、教職員の交流を深めていくことなどが話し合われました。

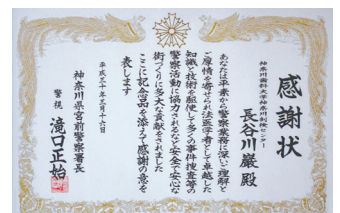
平成30年4月8日（日）ファティマ大学へ向けて、一般ユニット15台、小児用特注のユニット3台、歯科用チェアー15脚、デンタルキャビネット15台、デンタル撮影機3セットが搬出されました。コンテナで海路輸送され、現地で整備され今年の夏には現地で使用できる予定です。



神奈川歯科大学剖検センターに感謝状

剖検センター長 長谷川巖教授に藤沢警察署及び宮前署より感謝状が授与されました。警察業務に深い理解を示

した確かな死因究明活動に尽力し多大な貢献をされたことに対しての感謝状です。



平成 29 年度公的研究費コンプライアンス研修・研究倫理教育研修 開催

平成 30 年 1 月 30 日（火）に公的研究費執行に関わる研究者・事務職員を対象に、三宮紀彦 公認会計士をお迎えして、「公的研究費コンプライアンス研修・研究倫理教育

研修」を開催しました。

第 1 部のコンプライアンス研修では、PDCA サイクル一環の内部監査、不正事例をテーマに参加者とのディスカッションが行われました。

第 2 部の研究倫理教育研修では、研究倫理の基本概念、他大学の不正事例の紹介、データの保存・管理についてご説明いただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

研修内容の理解度を確認するため「理解度テスト」が実施されるとともに、欠席者に



は後日ビデオ学習によるフォローを行いました。

1 号館（実習棟）空調設備に関わる補助金

平成 30 年 1 月 12 日（金）より 1 号館（実習棟）の空調工事を行っています。本工事は、再生エネルギーの一つである地中熱を活用したヒートポンプを設置して空調に利用することにより、電力消費

量・CO₂ 排出量の大幅な削減を目指すものです。

本工事については環境省の「平成 29 年度 再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業」への補助金申請を行い、採択されました。補

助金は平成 29 年度と 30 年度の 2 か年にわたって受領します。（H29 年度補助決定額：

45,253,000 円・H30 年度補助予定額：45,253,852 円）



KDC 株式会社 平成 28 年度事業報告

KDC 株式会社の平成 28 年度（平成 28 年 10 月～29 年 9 月）事業結果について報告する。

1. 当社の 28 年度営業実績は以下に示した通りである。

売上総利益

179,343,000 円
（前年比 1.01）

販売費及び一般管理費

174,161,000 円
（前年比 1.06）

経常利益

4,584,000 円
（前年比 0.38）

当期純利益

3,436,000 円
（前年比 0.42）

2. この結果、純資産額は 43,044,792 円（前年比 1.09, 対資本金比 4.78）となった。

3. 各事業別の成績は右の表に示した通りである。

病院売店事業は 9% の減収であった。29 年度は新病院への移転もあり、来院患者数の予測が困難である為、今

年度並みを目標とする。自販機設置事業の販売収益は 14% 減と大幅減収であったが、5 年毎の契約更新に伴う設置協力金を加えると事業収益は 228% と大幅な黒字となり、これにより 4 号館と図書館の雨漏り対策工事を行うことが出来た。施設管理事業は 78% の大幅減収であった。理由はキャンパス全体の建物・設備の老朽化に伴う緊急対策費の増加であり、29 年度も更に増加することが予想される。教科書販売事業は教科書や実習書を購入しない学生の増加に伴う売り上げの減少により 56% の減収であった。学生寮管理事業は空室の減少に加えて修理費用の減少もあって 5% の増益であった。資料館運営事業は 3 年目を迎えて事業も安定化し、26% の増益であった。

一方、食堂管理事業は厨房器具のリース代や修理費用を負担することで赤字が 19%

増加した。イベント事業は当初今年実施しないとされていたジャカランダフェスティバルが急遽開催されたもののアトラクション費用は前年度の 1/3 であった。又、一般管理費も赤字を 16% の増加に抑えることができた。尚、今年度からアナトミーアート事業を行わなくなったが、これまでに制作した商品を販売する事により、467,681 円の収益があった。今後、学生、同窓生あるいは資料館見学者への販売に努力したいと考えている。

結果として収入は前年度より 2.3% 増加したが、支出が雨漏り対策費などを加え 7.0% 増加した為、収益は 28% の増加に留まった。

4. 大学への貢献：

- 1) 4 号館 および 図書館の雨漏り防止対策工事費 13,400,000 円を負担した。
- 2) ジャカランダ・フェスティバルの費用 1,095,166 円を負担した。
- 3) 食堂維持の為、厨房器具リース代や修理費等、4,056,804 円を負担した。

平成 28 年度事業別収支（現金・通帳ベース）

	収入	支出	収益	前年度比(%)
1 病院売店事業	21,679,667	15,861,897	5,817,770	0.91
2 自販機設置事業	19,555,124	0	19,555,124	2.28
(除設置協力金)	7,375,124	0	7,375,124	0.86)
3 施設管理事業	140,600,000	136,065,839	4,534,161	0.22
4 教科書販売事業	43,263,795	42,015,907	1,247,888	0.44
5 学生寮管理事業	32,301,530	24,406,067	7,895,463	1.05
6 資料館管理事業	7,066,030	3,362,482	3,703,548	1.26
7 グッズ販売	757,770	290,089	467,681	—
8 食堂管理費	0	4,056,804	-4,056,804	-1.19
9 イベント事業	0	1,095,166	-1,095,166	-0.34
10 一般管理費	0	36,013,220	-36,013,220	-1.16
総計	272,599,040	263,167,471	9,431,569	1.28

第50回全日本歯科学生総合体育大会

本年度は歯学体の節目となる50回大会となり、本学が総合主幹を務めることになりました。冬季部門として3種目はすでに終了していますが、夏季部門は来る7月30日の開会式から13日間の予定で開催され、23種目が競われることとなります。学生たちは日々の練習成果を余すことなく発揮し、その成果を競い合います。種目ごとの成績に加え、総合成績として大学にも順位が付けられます。本学は古く昭和47年度の第5回本大会での総合優勝がありますが、その後の優勝はありません。今大会での活躍とその成果が期待されます。半世紀にわたり継続された伝統ある記念大会の総合主幹を務めることは、光栄であると共

に実施責任の重さを痛感いたします。お引き受けした以上、この大会を成功裡に開催できることを願うと共に、学生、教職員一丸となり尽力する所存であります。

第50回全日本歯科学生総合体育大会 スキー部門

女子団体優勝、男女総合6位

女子個人

SG (スーパー大回転)

優勝 齋藤麻梨奈さん

3位 井上麻衣さん

SL (回転)

2位 齋藤麻梨奈さん

6位 井上麻衣さん

GS (大回転)

優勝 齋藤麻梨奈さん

5位 井上麻衣さん

女子総合

優勝 齋藤麻梨奈さん

3位 井上麻衣さん



冬季部門

平成29年12月28日(木)～

平成30年3月11日(日)

夏季部門

平成30年7月30日(月)～

平成30年8月10日(金)



絵：歯学部2年 日野裕里加

神奈川歯科大学 大学評価において「適合」認定

全ての大学は、7年毎に文部科学省から委託された評価機関による大学評価を受けることが義務付けられています。神奈川歯科大学は、平

成29年度に財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受けた結果、「大学基準に適合している。」との認定を受けました。中でも平

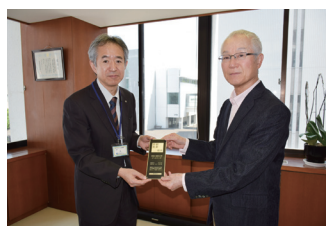
成25年度からスタートした教育改革と、様々な社会貢献活動に対して高い評価を得ました。認定期間は、平成30年4月1日(日)より7年間(平成37年3月末日まで)となっています。



横須賀市景観重要樹木に指定

構内にある世界三大花木の一つであるジャカラダが、第7回景観重要樹木に指定されました。横須賀市内のシンボルとなっている学校などの

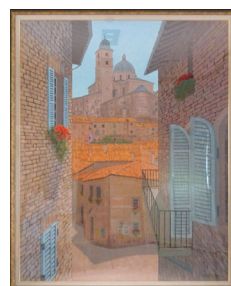
樹木が、景観法に基づき景観重要樹木に指定されるものです。これからも更に地域の皆様に愛される景観づくりに貢献していきます。



絵画の寄贈

この度、画家垣内宣子先生より、本学附属病院に絵画2点を寄贈いただきました。絵

画は、1階のエントランスに展示しています。



「初夏のウルビーノ教会 (イタリア)」



「初夏のドゥッケーレ宮殿 (イタリア)」

教学部だより

歯学部

平成30年度 登院式

平成30年4月2日（月）に今年度の登院式が新附属病院の12階講堂にて挙行されました。歯学部5年生が登院服姿で出席しました。臨床実習は、今までの講義および基礎実習で得た知識、技能を活かして患者さんに歯科医療サービスを実際に提供する臨床参加型の実習です。この登院式は臨床実習を行う前に常に医療人としての責任と自



覚を持ち続けることや意欲を高めるよい機会となっています。

第73回国民体育大会派遣

第73回国民体育大会冬季大会スキー（ジャイアントスラローム）宮城県選手団として齋藤麻梨奈さんが派遣されました。



フレッシュマンキャンプ

平成30年4月6日（金）・7日（土）に1泊2日でフレッシュマンキャンプが行われました。入学直後に行われるフレッシュマンキャンプは、教職員や同級生と親睦を深めるよい機会となっています。

す。今年の内容は、1日目に高德院で大仏見学、鎌倉建長寺で座禅研修、夕方には宿泊先でグループ研修を行いました。2日目は油壺マリパークを見学した後、ソレイユの丘でグループに分かれ、カレー作りを体験しました。



短期大学部

ヨーロッパ研修

平成28年度はパリを中心としたヨーロッパ研修を行いました。平成29年度はテロ遭遇の回避のため平成29

年12月20日から8日間の日程でイタリア共和国へ18名の学生が研修に参加しました。ローマ、フィレンツェ、ミラノと移動し、それぞれの都市の様相の違いと、小さな共和国の集合体であったイ

タリアの国の成り立ちを認識するとともに、古代ローマから中世に至る時の流れをまさに実感する、思い出深い研修となりました。



大学院ニュース

横須賀キャンパスと横浜キャンパスの2校地による大学院歯学研究科

平成25年、神奈川歯科大学大学院は横浜クリニック・横浜研修センターに新講座として高度先進口腔医学講座を開講しました。そして昨年度の改組では、横須賀キャンパスと横浜キャンパスの2校地を設置し、再スタートいたしました。

昨年度、横浜キャンパスでは初めて大学院入試を行い、

本年度の高度先進口腔医学講座の大学院生は17名となります。高度先進口腔医学講座は、歯科補綴学分野、歯科矯正学分野、インプラント歯周病学分野、麻酔科学分野、眼科学分野からなり、専門性の高い歯科医の育成を目指すとともに、臨床課題解決型の研究を推進しております。また研究・臨床報告会を毎年2回開催しており、大学院生は研究の進捗状況を報告するとともに、自身の専門分野だけで

はなく他分野の専門医からの忌憚のない意見を参考にすることで、より開けた視野で研究活動を展開しております。最終学年の大学院生には、各分野における専門性の高い臨床治療例の報告を義務付けており、臨床能力を評価するとともに、専門分野間の相互理解の場ともなっております。

以上のように、横浜キャンパスは神奈川歯科大学大学院の一翼を担うべく基盤を整備しており、横須賀キャンパスの基礎分野とも講座間研究を推進しています。

横須賀キャンパスは近年の最重要課題である高齢者歯科のモデル地区に立地しており、いっぽう横浜キャンパスは都会型の先進歯科医療の展開に適した地区にあり、このような2校地における大学院は全国的にも稀です。新規性のある力強い研究活動を展開し、研究マインドに裏付けられた臨床専門医を育成する環境が整っておりますので、神奈川歯科大学大学院歯学研究科歯学専攻で共に歯科医療の未来を創造しましょう。

教員紹介

歯学部



歯学部学生担当部長

菅谷 彰

全ての学生に豊かな学園生活が提供できますように丁寧な対応を心掛けます。

各学年の主任

1年生：川上正人
2年生：浜田信城
3年生：玉置勝司



歯学部教務担当部長

山本龍生

教育目標の達成を目指して、教学システムを円滑に運営し、管理を行っていきます。

大学院



研究科長

槻木恵一

大学院では、高度な歯科医師の養成と同時に若手研究者の育成にも力を注ぎます。

短期大学部



歯学部教務担当部長

塗々木和男

教育目標が達成されるように、教育環境の充実と向上に尽力していく所存です。



歯学部学生担当部長

山田直樹

学修のためには学修環境が大切です。より良い環境の構築をすすめます。



歯科衛生学科長

角田 晃

有意義な学生生活を送ることができるように、教員が丸となって取り組みます。



看護学科長

前山直美

考える力と課題解決力と優しさあふれる看護専門職の育成に教員一丸で尽力致します。

2018年度オープンキャンパス日程

【歯学部】オープンキャンパス 開催日程 (予定)

日 程	内 容
7月26日(木)	・学校説明 ・入学ヒストリー
8月26日(日)	・歯科医師体験実習または模擬講義 ・施設見学 ・学食体験
11月18日(日)	・先輩と話そうコーナー ・個別相談等

※詳細はHPをご確認ください (URL: <http://www.kdu.ac.jp>)

【短期大学部】オープンキャンパス 開催日程 (予定)

日 程	内 容
5月27日(日)	・学科説明
6月24日(日)	・入試説明 ・体験授業
7月8日(日)	・学内見学
8月5日(日)	・個別相談 ・先輩と話そう!
8月19日(日)	・入試対策講座・保護者説明会実施 ※5月27日・6月24日のみ実施
9月16日(日)	・附属病院見学(歯科衛生学科のみ) ※7月8日・8月5日のみ開催
2019年 3月17日(日)	

【短期大学部】ミニオープンキャンパス 開催日程 (予定)

日 程	
11月18日(日)	・施設見学 ・個別相談
12月16日(日)	※歯科衛生学科のみ通常開催

※全日 13:00～16:00【事前予約制】
※詳細はHPをご確認ください (URL: <http://www.kdu.ac.jp>)

ジャカランダフェスティバル ～市民感謝デー～

☆2018・6・17(sun) ☆雨天決行

今年もジャカランダのフェルメールブルーの花をぜひご覧ください。

